

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名	水道事業建設改良事業(配水管等)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康		所属部	水道局	課長名 坂本 卓博
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化		所属課	上下水道課	担当者名 田中 良知
	施策の柱	60	水の安定供給		所属班	水道班	(内線) 5244
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	上水道の新設配水管等整備(布設替等工事)を行う事業である。本事業は、豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として昭和37年度から事業を実施している。水道使用者数は増加傾向が続き、23,708世帯(対前年度比+476世帯)となっていることから、計画的な配水施設の整備等を行い安定的な水の供給を図ることとしている。なお、平成28年度に竹迫地区簡易水道及び栄地区簡易水道を上水道へ統合した。
【業務の流れ】	上水道の配水管等整備のための①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤上水道配水管工事⑥竣工検査⑦支払い事務
【主な予算費目】	建設改良費(営業設備費) 工事請負費、委託料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	市内の老朽化した配水管等の布設替工事等および設計業務委託等	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) %	予算の主な増減の理由
→ ア 上水道の普及率	%	
→ イ 上水道の配水管布設工事延長	m	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	上水道使用者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
		→ ア 上水道使用者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全で良質な水道水を安定的に使用できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) %
		→ ア 上水道使用者のうち安全で良質な水道水を安定的に使用できた割合
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
上水道使用者に安定した水道水の供給ができた割合		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込	
①活動指標	ア %		98.73	98.8	99.75	98.8	99.8	99.8	99.8	99.8	
	イ m		8,023.9	3,782	4,000	4,668.6	2,450	2,250	2,760	3,010	
②対象指標	ア 人		54,388	55,432	61,000	60,906	62,000	63,000	64,000	65,000	
	イ %										
③成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ %										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	296,488	277,594	390,200	268,984	227,143	139,000	160,000	178,000
		繰入金	千円								
	一般財源	千円									
	(A)事業費計	千円	296,488	277,594	390,200	268,984	227,143	139,000	160,000	178,000	
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8	6	8	8	8	0	
	延べ業務時間	時間	2,450	2,100	2,700	2,540	2,700	2,700	2,700	0	
(B)人件費計	千円	9,096	0	10,756	10,048	10,756	10,756	10,756	10,756	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	305,584	277,594	400,956	279,032	237,899	149,756	170,756	178,000		

事務事業名	水道事業建設改良事業（配水管等）	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 今後も引き続き老朽化した配水管の布設替えを順次行っていく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 配水池施設の整備と併せて配水管布設替え等の施設整備を進め、すべての上水道使用者に安定的な水道水を供給することとしているため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成28年度中に上水道事業と簡易水道事業を統合したため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 老朽化した配水管の布設替えは必須事業であり、事業費についても可能な限り集約し競争入札によりコスト削減を図っていることから削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の予算で事業を行っているので削減余地は無い。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 すべての水道使用者に受益機会があるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 インフラ整備であるため、市が行うべき事業であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

安定した水供給のため次年度も引き続き布設替え工事を順次行っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					